



# たこ焼き料理、マシュマロチャレンジ

経済学部 現代ビジネス学科 3年 能島 正和



〈人文学会特製ポスター〉

神奈川大学は前期と後期を合わせて年間100人近い留学生を受け入れている。外国語を志す学生ならば留学生と交流したいという気持ちがあることだろう。しかし、実際に彼らと交流をもっている学生は多くない。その原因は彼らと交流する機会が少ないことだと考える。そこで私たち人文学会学生会部会は11月28日(水)に留学生と親睦を深める目的で人文学会学生会部会主催による「たこ焼き料理、マシュマロチャレンジ」料理教室を行った。

私は人文学会学生会部会の一員としてイベントの企画や広報活動としてこの企画に参加した。私はお昼休みに国際センターで行われている相互学習のサポーターをしており、留学生との交流を目的とした料理パーティーを企画したことがあるが、60人近い学生を招待したイベントを企画したことはほとんどなく、またリハール当日も時間が取れず正直、不安なことが多かったが、孫先生や人文学会学生会部会、国際センター、ラックスの人们的の協力を得ながら、打ち合わせや準備を進めることが出来た。また、イベントを企画するにあたって一番不安だったのが、留学生が当日集まってくるかということだった。そのためチラシを作って相互学習に参加する留学生に配ったり、イベントを紹介する文章を作り国際センターから配信してもらうなどして広報活動を行った。その活動の成果もつてか当日は留学生、日本人学生合わせて60人近い人たちに参加していただくことができた。

当日、参加者の中にはじめてたこ焼きを作る学生も多く、大いに盛り上がった。半球の鉄板できれいな丸いたこ焼きがなかなか作れず苦戦している様子だったが、徐々にコツをつかみ、終わりににはきれいな丸いたこ焼きを作ることが出来ている様子だった。たこ焼きを焼いている最中も留





たこ焼き完成



丸く焼くのが難しい



マシュマロタワー完成

学生の出身の国や専攻科目、日本と母国の違いなど様々な話をすることが出来た。イベント後半には、マシュマロチャレンジが行われた。このゲームはマシュマロをタワーの頂上に置き、スパゲティ、マスキングテープと紐、を使って制限時間内に自立式のタワーを作成し、最も高いタワーを作ったチームの優勝となるゲームである。チームワークが大切なゲームであるが、どのチームも留学生と日本人学生ともに協力し合いタワーを作ることが出来き、楽しく交流することが出来ている様子だった。



神奈川大学のハッピーに興味深々

にあたり、ラックスホールや国際センターをはじめとするたくさんの方にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。